

令和 7 年度吉川市男女共同参画 職員意識調査報告 <概要>

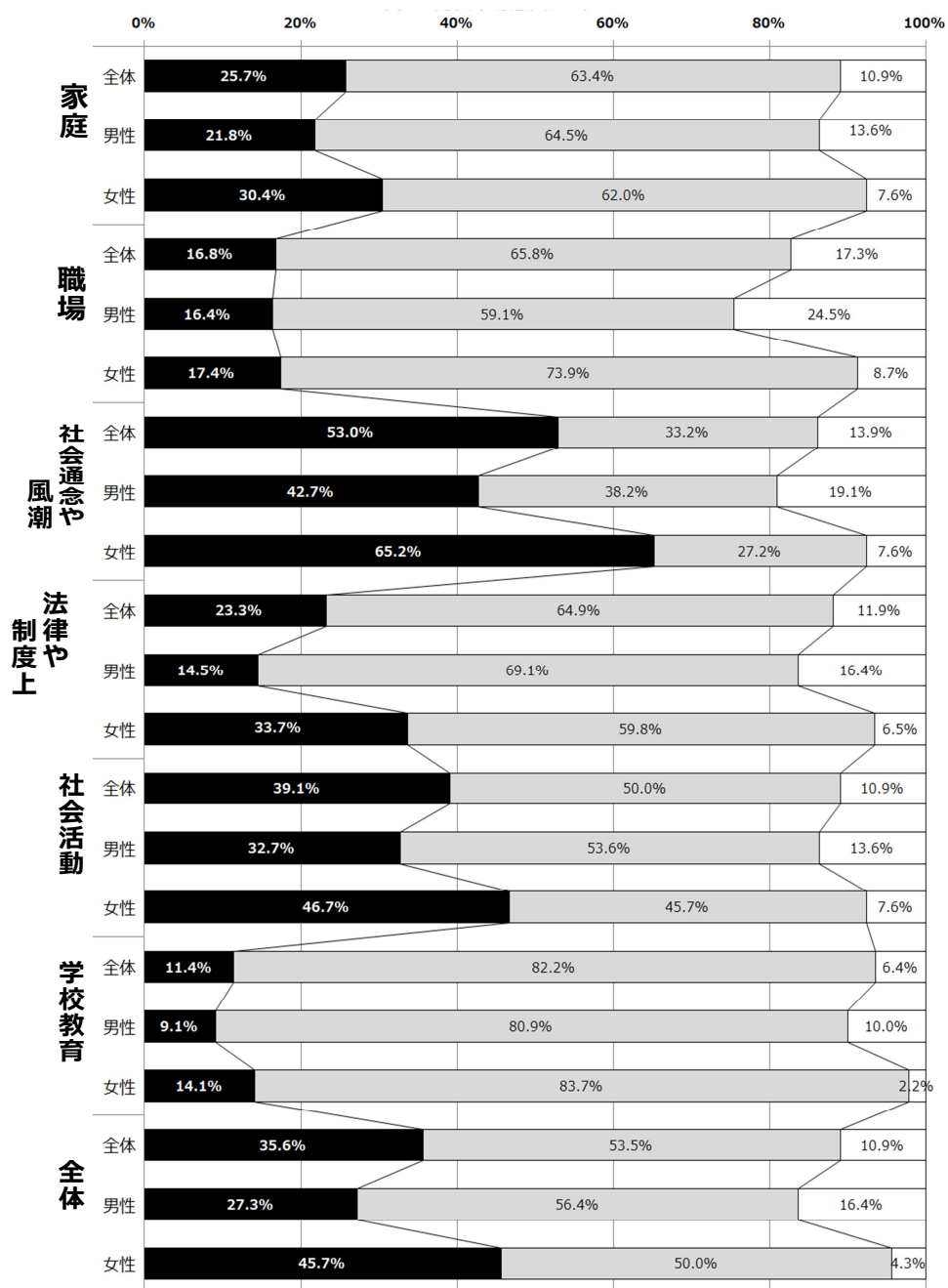
1. 実施概要

	時期	対象者数 (人)	回答者数 (人)	回答率	【参考】 前回回答率
職員 意識調査	令和 7 年 1 0 月 1 5 日から 1 1 月 1 7 日	4 1 3 (※)	1 9 5 (※)	4 7 . 2 % (※)	5 0 . 2 % (▲ 3 . 0 %)

※ 会計年度任用職員は時期により人数が変動するため、正職員の回答率のみ集計。

2. 男女共同参画に関して

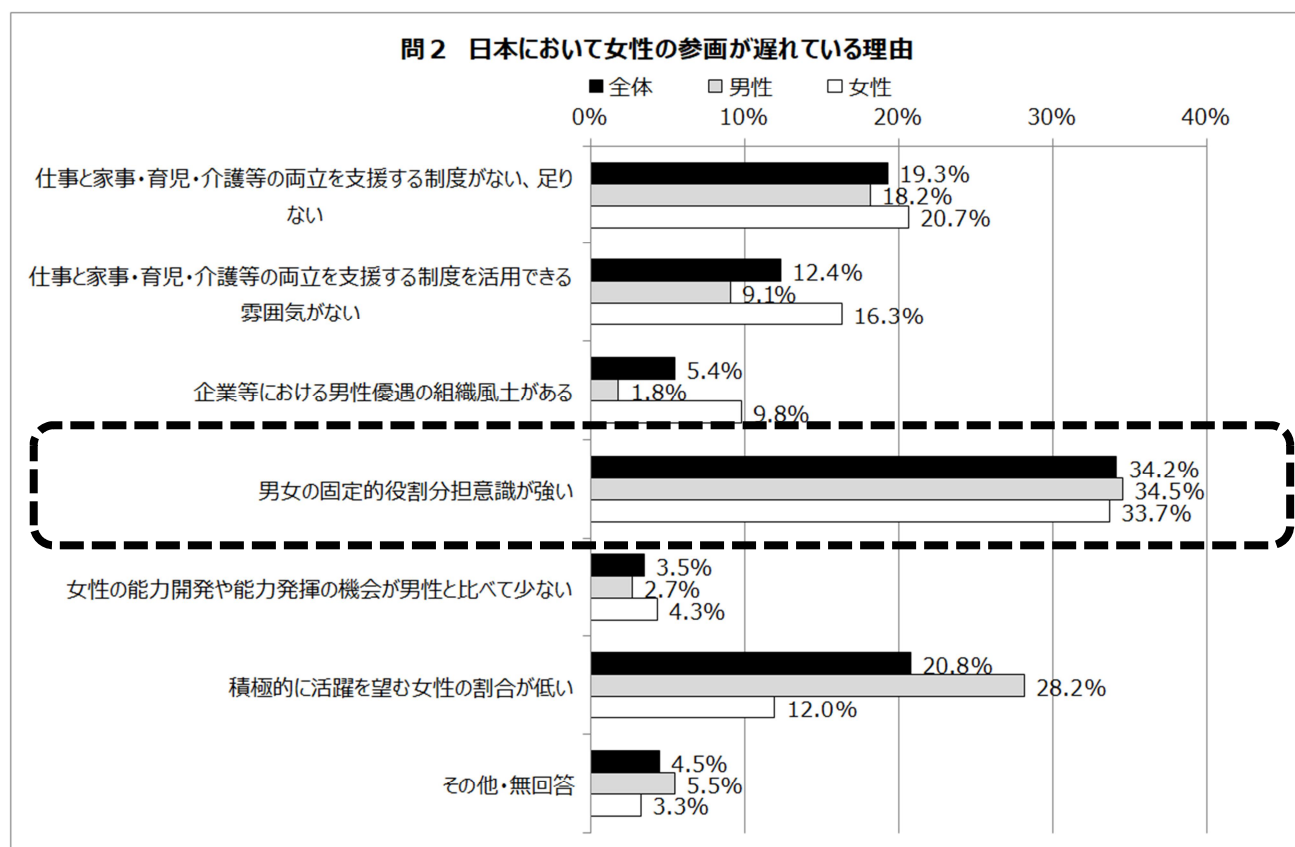
(1) 男女の平等意識について



結果

- ・ 「学校教育の場」(82.2%)が最も多く、次いで「職場の中で」(65.8%)、「法律や制度の上で」(64.9%)が高い。
- ・ 市民の回答と比較すると、「職場」「法律や制度」における平等感が高い。
- ・ 市民・職員ともに、全ての項目で男性より女性の回答者で「男性優遇」を選んだ方の割合が高い。

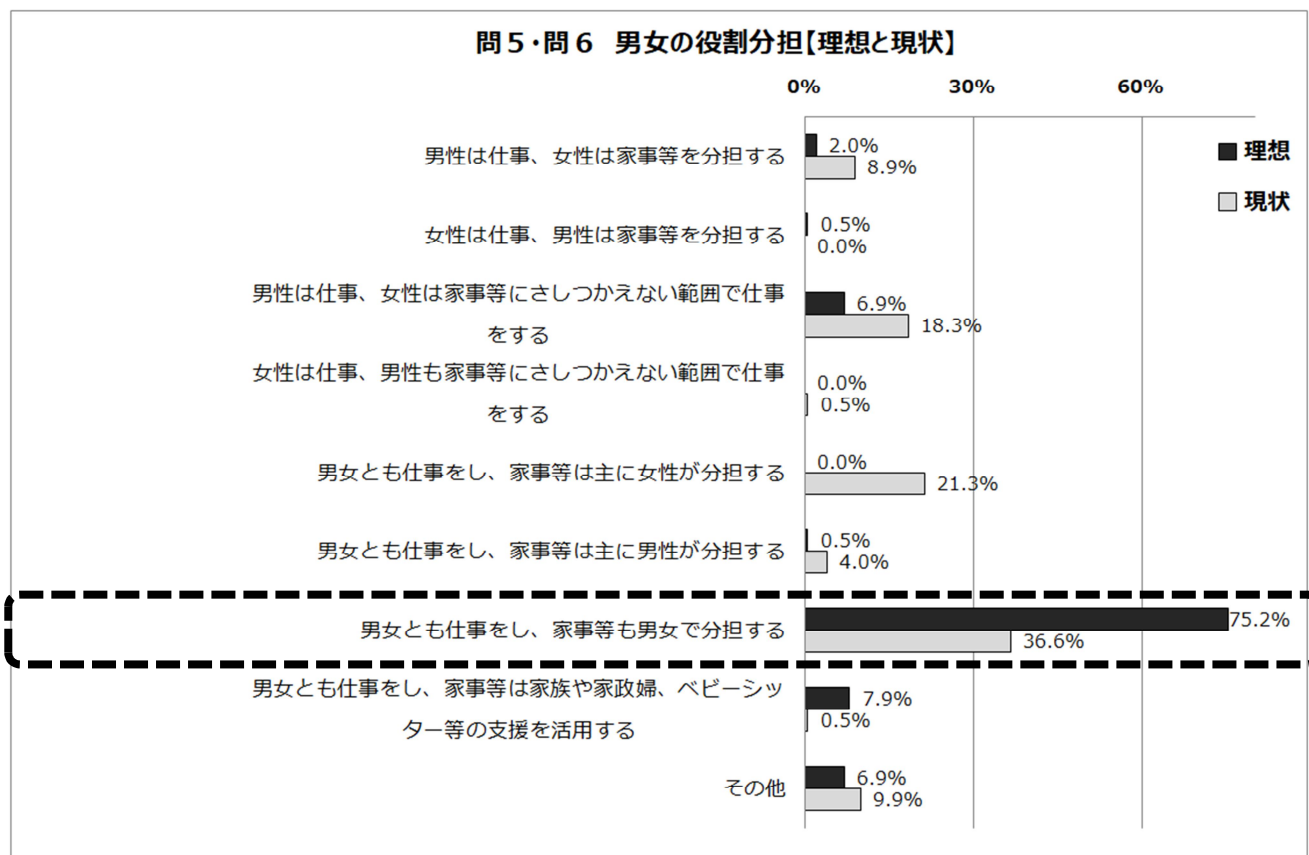
（２）日本における女性参画の課題



結果

- ・ 男女ともに「男女の固定的役割分担意識が強い」（34.2%）が最も高い。
- ・ 次点で高い回答について、男性職員は「積極的に活躍を望む女性の割合が低い」（28.2%）である一方、女性職員で当該理由を選択した割合は12.0%に留まり（上から4番目）、性別間で16.2ポイントの相違がある。女性職員は「仕事と家事・育児・介護等の両立を支援する制度がない、足りない」と回答した職員の割合が次に高く（20.7%）、性別による意識の相違が見受けられる。

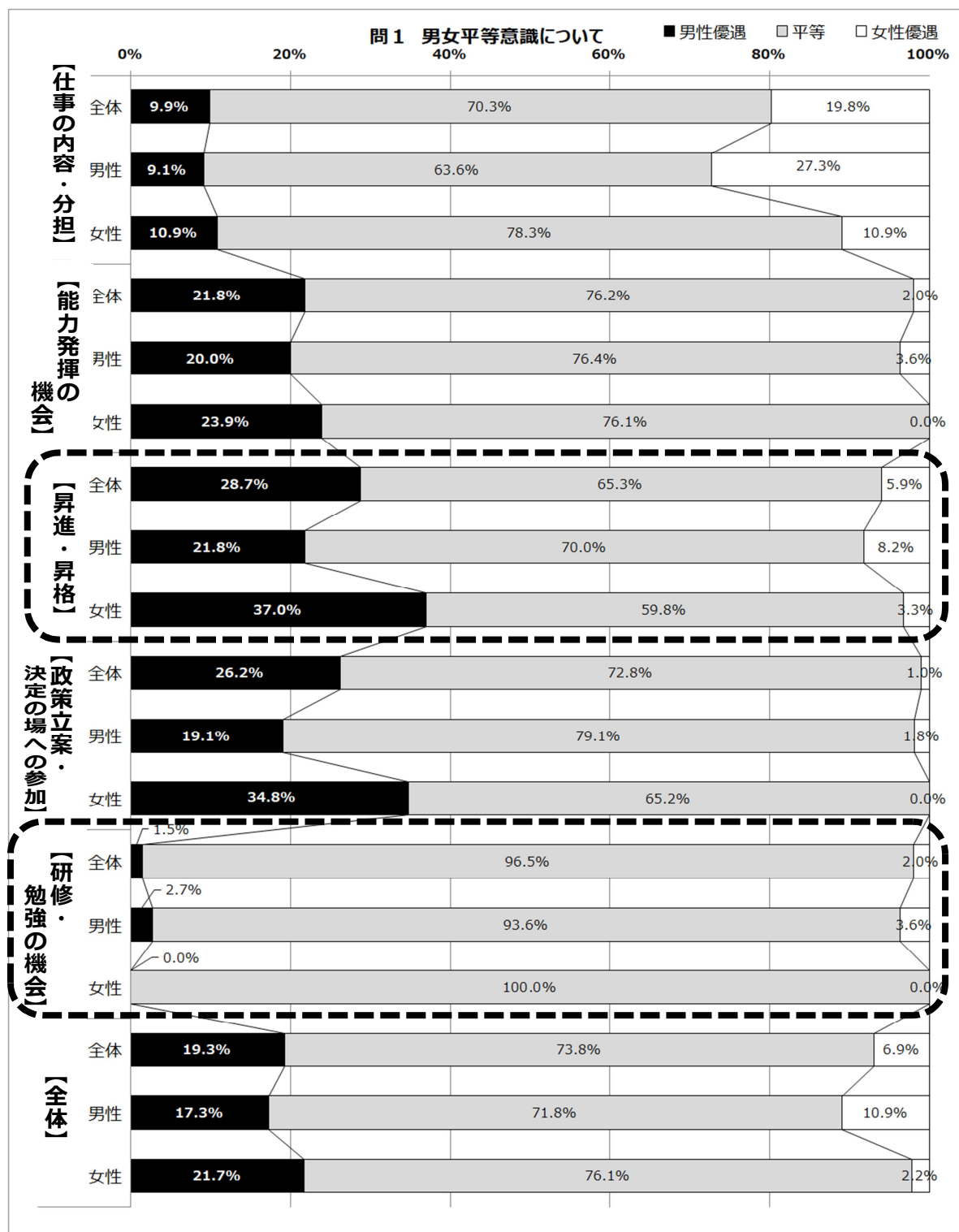
(3) 男女の役割分担の理想と現実 **成果指標 2**



結果

- 理想と現状ともに「男女とも仕事をし、家事等も男女で分担している」の割合が最も高く、理想と現状が一致している。

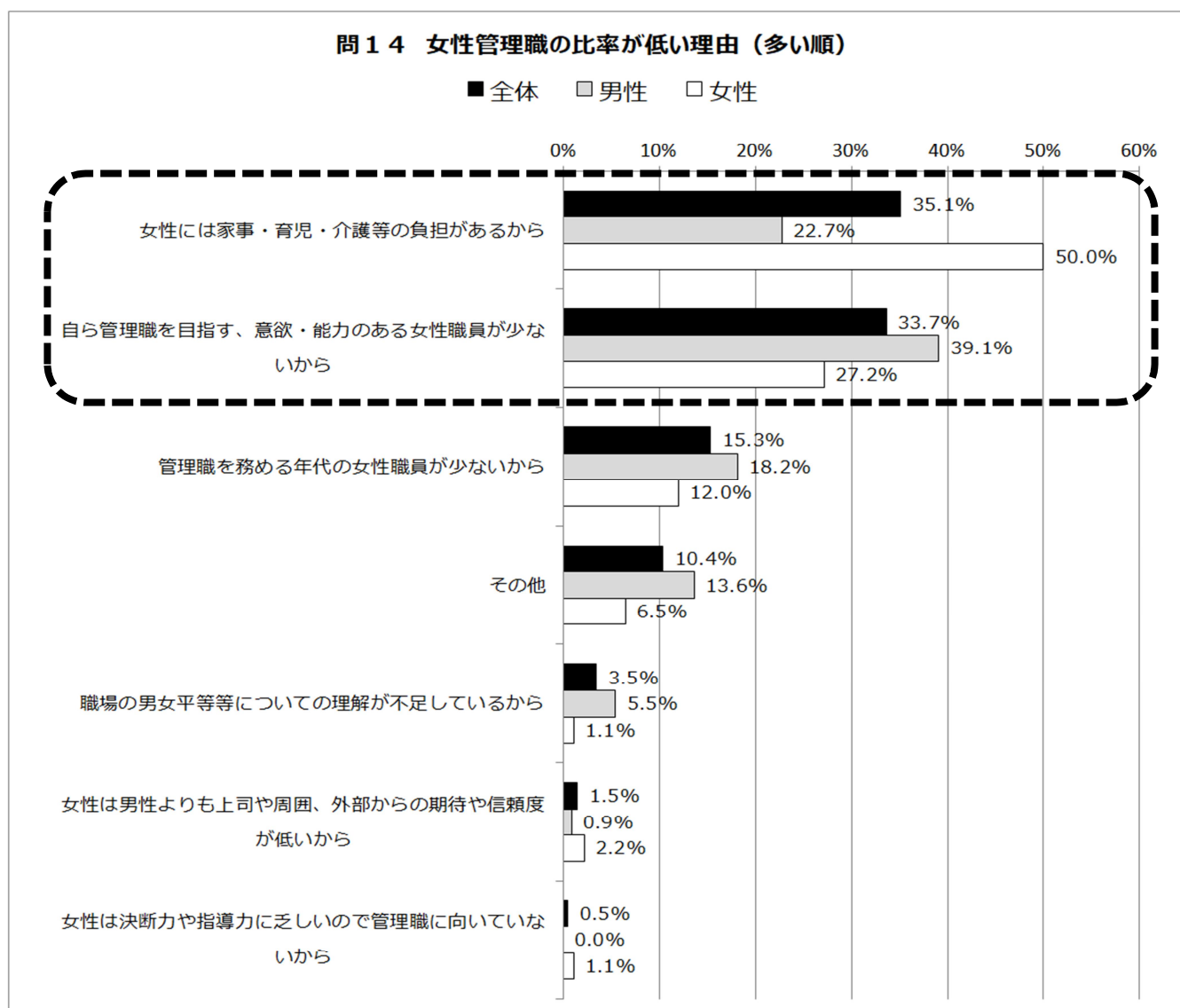
(4) 吉川市役所における男女の平等感について



結果

- ・「研修・勉強の機会」が最も高い一方で、「昇進・昇格」が最も低い。
- ・「研修・勉強の機会」以外の項目全てにおいて、男性職員より女性職員で「男性優遇」と回答した方の割合が高い。

（５）吉川市役所の女性管理職の比率が低い理由

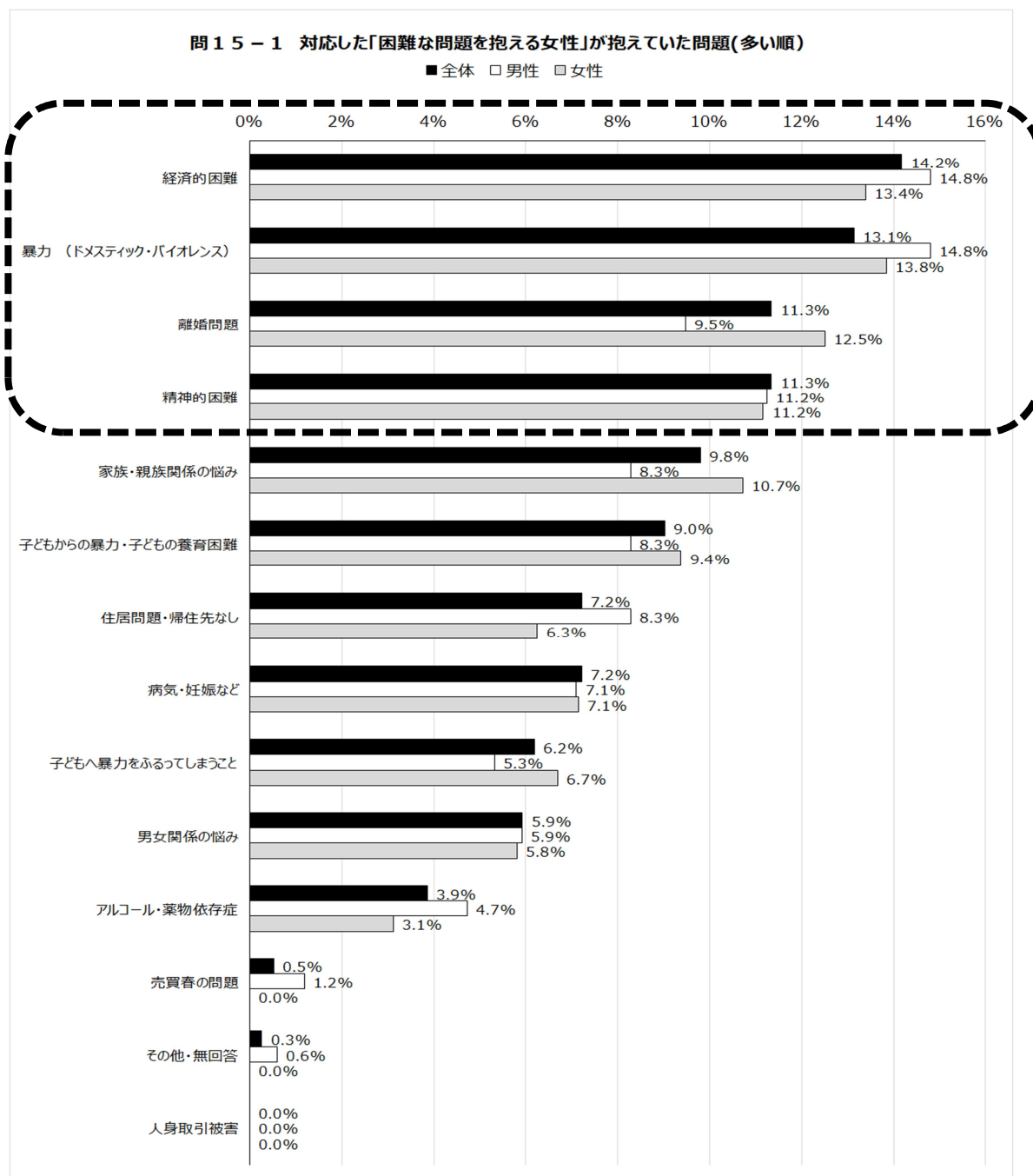
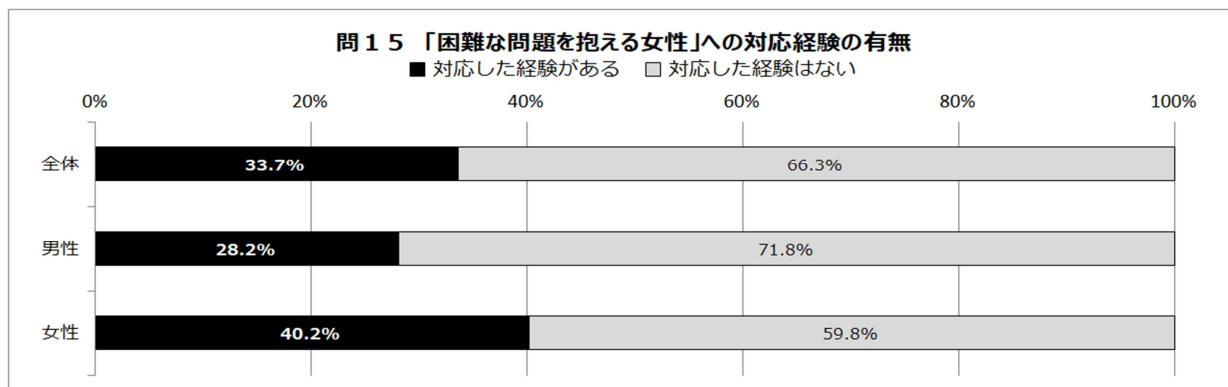


結果

- ・ 女性職員では「女性には家事・育児・介護等の負担があるから」（50.0%）の割合が最も高い一方で、男性職員では「自ら管理職を目指す、意欲・能力のある女性職員が少ないから」（39.1%）が最も高く、性別による認識の相違が見受けられる。

3. 困難な問題を抱える女性への支援に関して

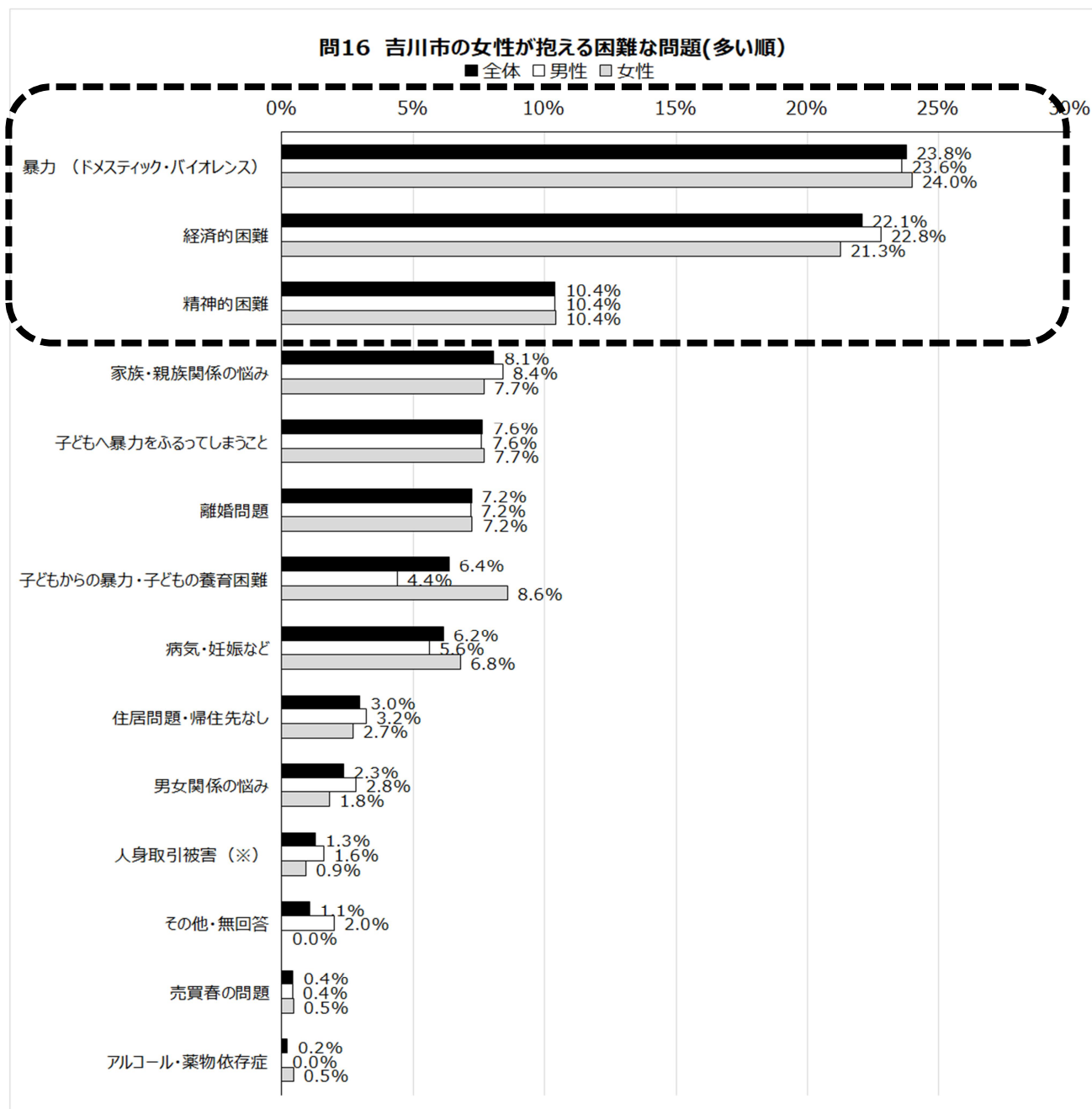
(1) 吉川市役所における困難な問題を抱える女性への対応



結果

- ・ 職員の３割ほどが過去１０年以内に「困難な問題を抱える女性」を対応したことがある。
- ・ 対応した女性が抱えていた困難な問題は、「経済的困難」（１４．２％）が最も多く、「暴力」（１３．１％）、「離婚問題」（１１．３％）、「精神的困難」（１１．３％）が続いた。
- ・ 一方で、「売買春の問題」（０．５％）「人身取引被害」（０％）の割合が低い結果となった。

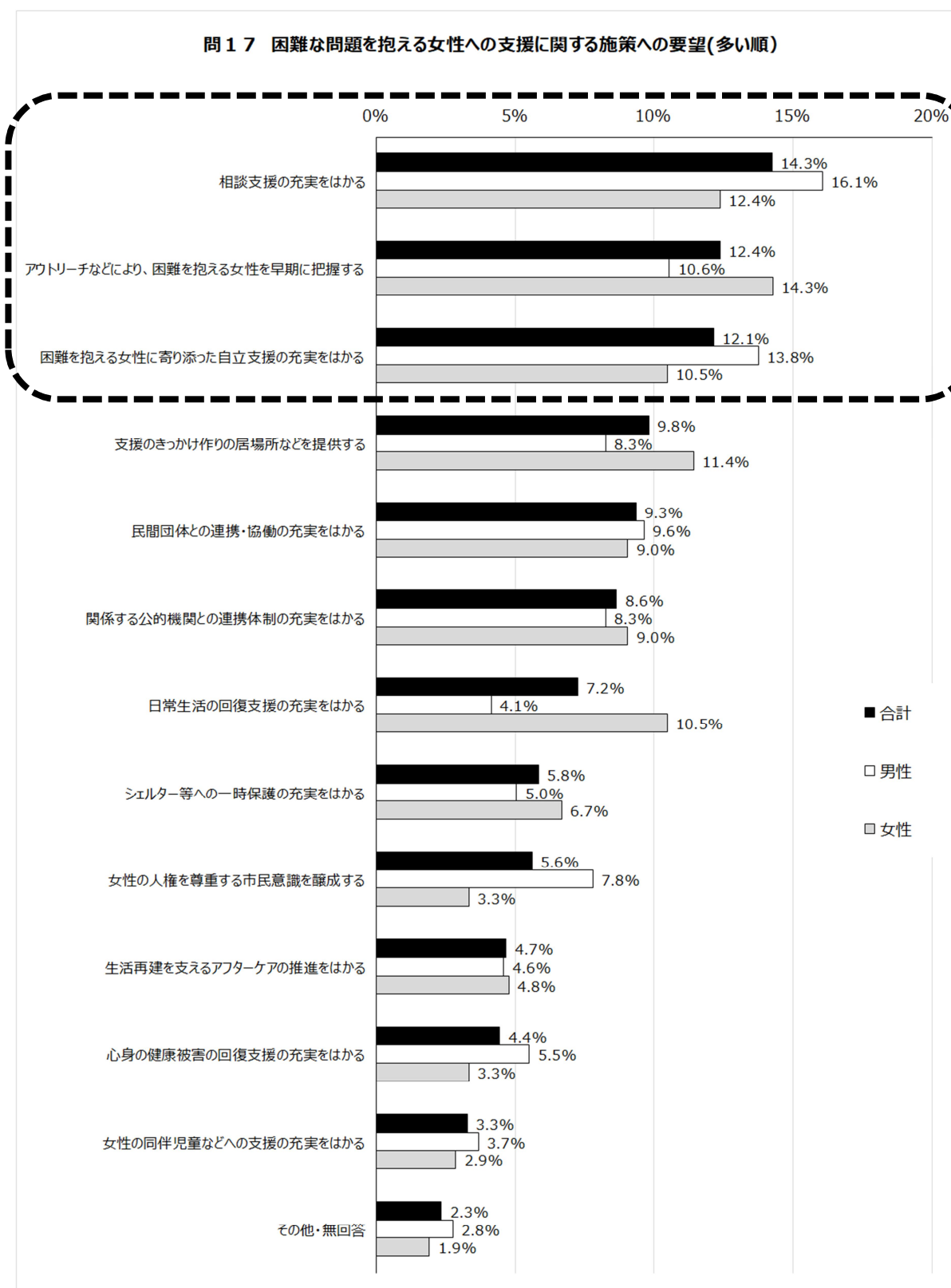
（２）吉川市内の女性が抱える困難な問題について



結果

- ・ 全体では「暴力」が最も多く、「経済的困難」「精神的困難」が続いた。

(2) 施策への要望



結果

- ・ 全体では「相談支援の充実をはかる」(14.3%)が最も多く、「アウトリーチなどにより、困難を抱える女性を早期に把握する」(12.4%)、「困難を抱える女性に寄り添った自立支援の充実をはかる」(12.1%)が続く。